

企 画 名：放射能汚染地域のチョウにおける遺伝子損傷部位を特定するためのゲノム解読

団 体 名：琉球大学理学部海洋自然科学科生物系大瀧研究室

1. 報告要旨

本研究は、ヤマトシジミという小型のチョウを用いて福島第一原子力発電所事故による放射能汚染地域にすむ生物に対する生物学的影響をゲノムレベルで調べることを目標としています。2013年度は、ゲノムの抽出に成功し、第一段階のドラフト配列が得られました。今後の成果については、論文発表のあと、大瀧研究室のホームページ <http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/index.html> で順次公開していきます。ただし、2013年度の成果は2014年度の研究に引き継がれ、更なるゲノム解析が行われます。最終的に研究論文という形で発表できるのはそのあとになりますので、それまでしばらくお待ちください。

4. 成果物

1. ゲノム抽出用ヤマトシジミ採集（研究過程）
2. 採卵・飼育後のゲノムDNA抽出（研究過程）
3. ライブラリ作製とシーケンシング（研究過程）
4. ゲノム出力データ解析（研究過程）
5. 解析レポート（研究途上）